

資料 1

町内小中学校におけるG I G Aスクール構想 ～一人一台タブレット端末の活用状況について～

1. GIGAスクール構想とは・・・

新学習指導要領の情報教育・ICT活用教育関係ポイント

小学校：2020年度全面実施、中学校：2021年度全面実施、
高等学校：2022年度から年次進行で実施

小・中・高等学校共通のポイント（総則）

- **情報活用能力**を、言語能力と同様に「**学習の基盤となる資質・能力**」と位置付け
- **学校のICT環境整備**と**ICTを活用した学習活動の充実**を明記

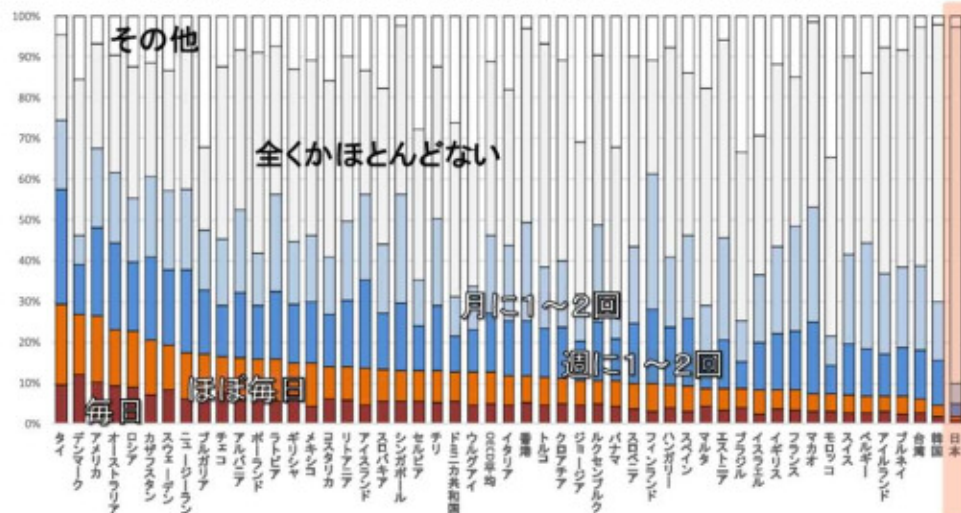
小・中・高等学校別のポイント（総則及び各教科等）

- **小学校プログラミング教育の必修化**を含め、小・中・高等学校を通じてプログラミング教育を**充実**。
 - 小学校：文字入力など基本的な操作を習得、**新たにプログラミング的思考を育成**
 - 中学校：技術・家庭科（技術分野）において**プログラミングに関する内容を充実**
 - 高等学校：**情報科**において**共通必修修科目「情報Ⅰ」**を新設し、全ての生徒がプログラミングのほか、ネットワーク（情報セキュリティを含む）やデータベースの基礎等について学習

【文部科学省作成資料より抜粋】

OECD/PISA 2018年 ICT活用調査

学校での使用頻度：ほかの生徒と共同作業をするために、コンピュータを使う



出典 OECD生徒の学習到達度調査(PISA2018)「ICT活用調査」

ICTを活用した学習に関する他の指標も軒並み最下位

16

学校におけるICT環境整備について

教育のICT化に向けた環境整備5か年計画（2018～2022年度）

新学習指導要領においては、情報活用能力が、言語能力、問題発見・解決能力等と同様に「学習の基盤となる資質・能力」と位置付けられ、「各学校において、コンピュータや情報通信ネットワークなどの情報手段を活用するために必要な環境を整え、これらを適切に活用した学習活動の充実を図る」ことが明記されるとともに、小学校においては、プログラミング教育が必修化されるなど、今後の学習活動において、積極的にICTを活用することが想定されています。

このため、文部科学省では、新学習指導要領の実施を見据え「2018年度以降の学校におけるICT環境の整備方針」を取りまとめるとともに、当該整備方針を踏まえ「教育のICT化に向けた環境整備5か年計画（2018～2022年度）」を策定しました。また、このために必要な経費については、**2018～2022年度まで単年度1,805億円の地方財政措置を講じる**こととされています。

2018年度以降の学校におけるICT環境の整備方針で目標とされている水準

- 学習者用コンピュータ 3クラスに1クラス分程度整備
- 指導者用コンピュータ 授業を担当する教師 1人1台
- 大型提示装置・実物投影機 100%整備
各普通教室1台、特別教室用として6台
(実物投影機は、施設実態を踏まえ、小学校及び特別支援学校に整備)
- 超高速インターネット及び無線LAN 100%整備
- 統合型校務支援システム 100%整備
- ICT支援員 4校に1人配置

- 上記のほか、学習用ツール^(※)、予備用学習者用コンピュータ、充電保管庫、学習用サーバ、校務用サーバ、校務用コンピュータやセキュリティに関するソフトウェアについても整備

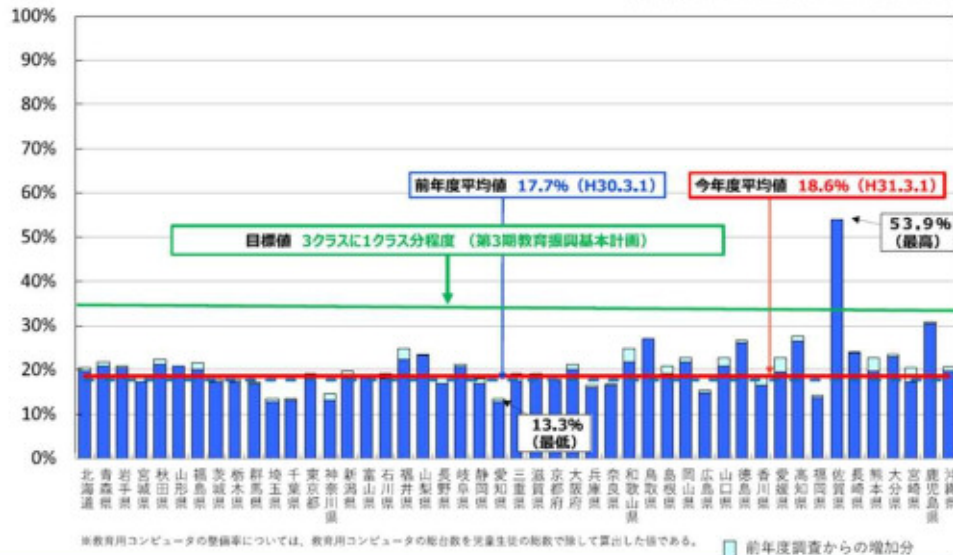
(※) ワードプロセッサや表計算ソフト、プレゼンテーションソフトなどを用いた学習活動に共通する汎用ソフトウェア

1日1コマ分授業、
児童生徒が1人1台
環境で学習できる
環境の実現



都道府県別 教育用コンピュータ整備率

【前年度（平均：17.7%、最高：54.2%、最低：12.7%）】



国の動き

【学校教育の情報化の推進に関する法律】

令和元年6月21日全会一致で成立、6月28日公布・施行

学校教育の情報化の推進に関し、基本理念、国等の責務、推進計画等を定めることにより、施策を総合的かつ計画的に推進し、もって次代の社会を担う人材の育成に貢献

【10月10日 衆議院予算委員会 萩生田文部科学大臣答弁】

今後とも、関係省庁や産業界と連携しながら、令和の時代にふさわしい、といえますのは、平成の時代はパソコンやタブレットは学校にあったらいいなという教材でしたけれども、いよいよ令和の時代はですね、なくてはならない教材として、しっかりICT環境の実現を図ってまいりたいと思います。

【11月13日 経済財政諮問会議 安倍議長発言】

パソコンが1人当たり1台となるのが当然だということを、やはり国家意思として明確に示すことが重要。

G I G Aスクール構想の実現

令和元年度補正予算額 2,318億円
 公立:2,173億円、私立:119億円、国立:26億円

(1) 校内通信ネットワークの整備

1,296億円

- 希望する全ての小・中・特支・高等学校等における**校内LANを整備**
 加えて、小・中・特支等に**電源キャビネットを整備**

事業スキーム

- 公立** 補助対象：都道府県、政令市、その他市区町村
 補助割合：1/2 ※市町村は都道府県を通じて国に申請
- 私立** 補助対象：学校法人、補助割合：1/2
- 国立** 補助対象：国立大学法人、(独)国立高等専門学校機構
 補助割合：定額

(2) 児童生徒1人1台端末の整備

1,022億円

- 国公私立の小・中・特支等の**児童生徒が使用するPC端末を整備**

事業スキーム

- 公立** 補助対象：都道府県、政令市、その他市区町村等
 補助割合：定額（上限4.5万円）※市町村は都道府県を通じて国に申請
- 私立** 補助対象：学校法人、補助割合：1/2（上限4.5万円）
- 国立** 補助対象：国立大学法人
 補助割合：定額（上限4.5万円）

29

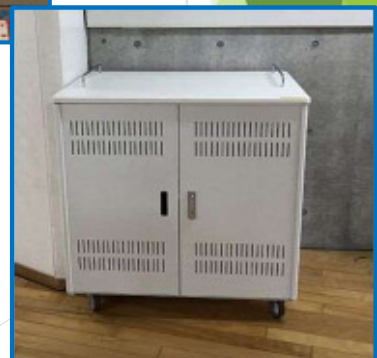


町内小中学校へ導入したタブレット端末とキーボード（本町では黒色を採用）

教室に設置されたアクセスポイント



充電保管庫



2. 各小中学校の取組み

厚岸町立真龍小学校 学校便り

**真龍小便り**

【学校の教育目標】
心豊かに体きたえる子
やさしくいねむる子
やさしく行動する子
心豊かに学ぶ子

No.5 令和3年8月31日発行

GIGA スクール構想の実現に向けて

現在学校では、iPad を活用した授業を行っています。今後は、iPad を家庭に持ち帰り、インターネットを使って学校と家庭をつなぎ、連絡を取り合うことができるよう、準備を進めています。

この仕組みを活用できるようになると、臨時休業の時や災害などの不測の事態の時に、インターネットを活用して、学校から授業を発信し、各家庭で学習をすることができるようになります。これにより、子どもたちの学習が滞ることなく進めることが可能となります。

学校では、早急にこの仕組みを構築するため、取り組みを進めているところです。これに関わり、様々な点で家庭の協力を得なければなりません。学校と連絡を取り合いながら、進めていきたいと思ひます。

iPad についての約束（太田小）

～iPad の家庭への持ち帰りが始まりました～

9月2日のiPad オンラインテストを経まして、9月22日より家庭へのiPad の持ち帰りが始まっています。子ども達が家庭学習にiPad が必要な時に、家庭へ持ち帰ることとなります。iPad は便利な学習用具ですが、使い方を間違えると危険な道具にもなってしまいます。子どもたちに使い方やネットモラルについて教えていく一方、安全に活用できるよう、ルールを守る指導も行っています。持ち帰り時のルール等につきましては、GIGA スクール推進係からのお便りでお知らせしております。ご家庭での協力をどうぞよろしくお願いいたします。

【iPad 持ち帰りについての約束】

1 大切に使う

…大変高価な学習用具となります。

2 家庭学習のために使う

…使ってよいアプリが決まっています。

【使ってよいアプリ（9月24日現在）】

・ロイロノート ・ScratchJr ・hiragana
・katakana ・ABC ・abc ・キーボード島
・筆順辞典 ・Google Earth ・リスニング
・英検問題 ・iMovie ・GarageBand

※今後、変更になることもあります。

3 午後8時以降の使用はしない

…就寝する1～2時間前には、iPad の使用をやめることがよい睡眠につながります。

太田小だより

厚岸町立厚岸中学校 学校だより

純

岡

3



令和3年 6月30日発行 No.3

備えを万全にして

国の施策である「GIGAスクール構想」により、生徒一人に一台のタブレット端末が導入され、授業の中で活用しています。

臨時休業等発生した際の、子ども達の学びの保証のため、双方向型のコミュニケーションアプリも導入されました。今後の活用を考え、校内ではありますが「リモート朝の会」として実証実験を行いました。接続等スムーズに行うことができました。





《校訓》 明朗 剛健 創造
太田中だより

令和3年6月29日発行 厚岸町立太田中学校 第4号

タブレットの活用

5月中旬より、今年度から導入されたタブレットの使い方を学ぶ「ICTタイム」を放課後の時間を利用して実施しています。最初の時間ではタブレットの使用ルールを確認し、その後タイピングの練習を行いました。現在、タブレットは宿泊研修の準備や授業でも活用されています。今後さらに様々なことに活用できるように学校で取り組みを進めています。



真中便り

【校訓】 自主・自愛・自責

2021. 9. 30 NO. 7
厚岸町立真隆中学校
発行責任者 佐藤 敬 喜

進む!! ICT化!

タブレット端末で家庭とつながる… Googlemeet接続テスト

昨年度末に厚岸町も全児童生徒にタブレット端末が整備され、授業での活用を中心に、少しずつ準備を進めてきました。毎日の授業では、全教科で様々な使い方をしていますが、9月2日(木)～3日(金)、非常事態に備えて、各家庭の充電機器やWi-Fi環境を確認しながら、タブレット端末で家庭とつながるテストを実施しました。学級ごとに、音声の状態等の接続状況を確認しました。Googlemeetでつながり、お互いに手を振り合ったり、子ども達の笑顔が画面いっぱいに広がりました。今回の接続での不具合などを検討し、非常事態に備えて準備を進めます。



職員室で生徒に対応する先生…





《校訓》 明朗 剛健 創造
太田中だより

タブレット端末の活用

8月30日（月）、各家庭にタブレット端末を持ち帰り、Wi-Fi 接続確認を行いました。9月2日（木）には、会議アプリを使用して3コマ（1コマ15分）の遠隔授業テストと「帰りの会」を行ないました。

会議アプリでの遠隔授業テストでは、自宅からの参加ということもあり、生徒全員のリラックスした表情を見ることができました。

また、6日（月）の全校朝会では、生徒一人に一教室を割り当てて会議アプリを使用して実施しました。

どちらも、新型コロナウイルス感染症による臨時休校等に備えてのものです。全家庭での接続が確認されたことから、今後、タブレット端末の家庭持ち帰り活用を本格的に進めてまいります。またこの他にも、効果的なタブレット端末の使用を検討し、積極的な活用を進めてまいります。



夏休み体験発表会～わかりやすく伝えよう～

8月26日（木）・27日（金）に、夏休み体験発表会がありました。子どもたちがiPadを使い、プロジェクターに映し出された資料、写真や動画を使いながらスマートに発表していく姿が見られました。ウィズコロナの時代の安心・安全な発表会でした。また、写真や動画からは、子どもたちの素敵な笑顔がたくさん見られました。ご家庭で愛情いっぱいに育てられていることが伝わってきました。

さて、発表会の目標は大きく2つありました。一つは「相手にわかりやすく伝えること」です。聞いてくれる方のことを考え、工夫している点がたくさん見られました。二つ目は「よいところを見つけて生かしていくこと」です。子どもたちは、様々な観点からよさを見つけ出して伝えていました。

夏休み体験発表会では新しい学習用具 iPad を上手に使用して自分のしたことをまとめ、発表してくれました。自由研究や工作等の支援だけでなく、効果的な iPad の活用や使い方の基礎、記録の仕方など保護者の皆様には多大な支援をいただいたことを感じました。ありがとうございます。

👉 富田校長のコメント



令和3年度
太田小だより
No. 6
令和3年 8月31日 発行責任者 校長 富田 義 宏

年賀状を作ろう～日本の伝統文化～

日本の伝統的文化の一つである年賀状作りに全校で取り組みました。まずは、12月9日（金）に太田郵便局長の瀬川様より、全校児童で年賀状の歴史、くじ、配送の仕組み等についてお話いただき、年賀状について幅広く学習しました。その後、子どもたちはそれぞれ教室で実際に年賀状作りに取り組みました。今回は、干支等の絵の他に、動画をQRコードにして年賀状につけるという取組に挑戦する子もいました。子どもたちは、相手のことを考え、心をこめて作っていました。そして、すてきな年賀状がたくさんできあがっていました。お正月が楽しみになりますね。

太田小だより



来年の干支の寅をかきました



年賀状に載せる動画の撮影中です

我が街「厚岸」への思いを込めて

3年生は、昨年度の宿泊研修、今年度の修学旅行を通して、「地域（観光）」について学習を深めてきました。その集大成として、わが街「厚岸」の観光産業にスポットを当て、PR動画を作成し、発表会を行いました。動画の編集能力はもちろんですが、厚岸の良さがふんだんに詰め込まれた内容でした。保護者・地域の皆様方にも披露できる機会があればと考えています。



厚岸町立厚岸中学校 学校だより

純 剛



タブレット端末で学級とつながる... オンライン朝会

感染症対策として、9月13日(月)、オンラインで体育館とつないで、全校朝会を実施しました。この日は、各種大会の表彰と校長先生のお話でした。



生徒たちは、画面を通してですが、表彰されている生徒に心からの拍手を送ります。

立会演説会もオンラインで... 後期生徒会役員選挙

9月28日(火)、後期生徒会役員選挙の立会演説会もオンラインで実施しました。立候補者たちは、自分が「生徒会役員になったら何をするか。」抱負をしっかりと語っていました。新役員は次号で紹介します。



学習発表会 今年度生徒会入ロ-ガン:「大志~Be Ambitious~」

10月2日(土)、学習発表会が行われました。今年度は、今年から導入されたタブレット端末のプレゼンテーションアプリを利用した発表や、音楽作成アプリを利用した発表など、初めて試みる内容が多い学習発表会でした。朝から雨が降り続くあいにくの天気の中、たくさんの保護者の皆様の前で、それぞれ両肩にも負けない元気いっぱいの堂々とした発表を行うことができました。



総合発表は、1・2年生は宿泊研修、3年生は社会見学の結果を発表



英語発表は、教科書の本文を発表



数学発表は、各学年の統計分野で学んだことを活用したレポートを発表



3年生音楽発表は、タブレットに録音した曲と生演奏を融合して発表



体育発表は、練習を重ねたみんなのできあがりダンス!!



各自で作成したデータをもとにタブレット端末を操作して発表



各教科の展示は力作揃いでした



生徒会活動として、当日の放送は自分たちで



1・2年生音楽発表は、音楽作成アプリで協働して作曲した曲を披露



終了後は全員笑顔で記念撮影

